

# 栽培のしおり

## 【ショウガ(ショウガ科)】

ショウガは、インド、マレー半島、中国等が原産地といわれている多年草であり、高温多湿を好み、寒さと乾燥を嫌います。発芽温度は18℃以上必要で、生育適温は15℃～30℃。低温には弱いで早植えはせずに十分暖かくなってから植えましょう。萌芽には一ヶ月近くかかります。

### 栽培時期

5月下旬に種をまきます。

### 栽培のポイント

病気がない充実した種ショウガをもちいます。

根は乾燥に弱いので保水力のある土地を選びます。連作に弱いので3年以上休作します。

### 品 種

小ショウガ: 金時・谷中 中ショウガ: 三州、近江 大ショウガ: インド

### 土壌酸性度

強い(ph5.0～5.5)

### 連作障害

有(4～5年)

### 元 肥

(1米当たり)堆肥3kg 苦土石灰150g 化成肥料150g

### 植え付け

植え付け時期:4月下旬～5月上旬

種は、小ショウガ50グラム内外、中ショウガ80～100グラムに分球したものを、3芽くらいずつにして、芽を上にして箱植えして芽出し育成しておきます。

植え付ける2週間前に苦土石灰を散布して耕しておき、1週間前に幅15cm、深さ20cmの植え溝を掘り堆肥、化成肥料を入れます。

芽出し苗が7cmくらい伸びたら植え付けましょう。乾燥しないように注意が必要です。

畝幅60センチ 株間30センチ

種は、小ショウガ50グラム内外、中ショウガ80～100グラムに分球したものを、芽を上にして植え付ける。乾燥防止のため敷きワラなどを使い防止する。

### 発芽日数

萌芽には一ヶ月近くかかります。

### 管理

ショウガは乾燥に弱く、畑が乾燥すると塊茎の肥大が著しく悪くなるので、乾燥が激しい時は畦間に灌水しましょう。長時間水が溜まると根腐れが出易いので排水に注意してください。

土寄せは、塊茎の肥大と品質向上のために大切な作業です。3～4cmの厚さに3回程度行ってください。

乾燥を嫌うので敷き藁(敷き草)をしてください。

時期は梅雨入り頃に薄く、二度目は梅雨明け後に高温乾燥を防ぐため厚く行って下さい。

### 追 肥(1米当たり)・土寄せ

追肥は、5月下旬ごろから20日おきに2～3回追肥します。

1回目を6月に有機化成肥料を1㎡当たり50g<sup>ラ</sup>畦の肩に施して通路の土で覆います。

2回目は7月に畦全体に50g<sup>ラ</sup>施して藁を厚く敷く。

3回目は8月下旬に畦の肩に株もとから離して50g<sup>ラ</sup>施し土で覆う。土寄せと同時に起こすと省力できます。

### 収 穫

9月頃から掘りあげ賞味してよいですが、本格的な収穫は10月～11月上旬の晴天の日を選び、霜で塊茎が傷まないうちに掘りあげてください。

漬物用は10月下旬から、種子および貯蔵用は霜のくる前、11月上旬に収穫します。

葉ショウガの場合では、萌芽50～60日後(7～8月)に葉数5～6枚で、草丈30cm位の時期に収穫します。

・7月上旬・葉が3～4枚開いたら古根を残してかき取る→矢生姜(筆生姜)

・8月～9月・新しい根が少し大きくなったら抜きとる→葉生姜(谷中生姜)

・10～11月・霜が降りる前に根が十分肥大したものを収穫→根生姜(新生姜)

・10月以降・新生姜を取ったあとの古根→次の年の種生姜に！

### 栽培実績

品 種()

2008種生姜の育成(発泡スチロール)

4/25 日干し

4/27 植え付け(種蒔土7+堆肥3)

5/22発芽

土作り(C-1区画)

5/19天地返し, ph.5.0

5/19苦土石灰

5/23堆肥.配合肥料

種生姜の植付(C-1)

6/02植付

6/02追肥(配合肥料)

6/12敷藁

7/6追肥

8/25 初物収穫

10/11廃棄